広報つなぎ 4月 No.267
昭和63年
発行／津奈木町 編集／企画課 印刷／水俣旭印刷所

人口と世帯（3月1日現在）人口6,078（－4）・男2,905（○）・女3,173（－4）・世帯1,717（－1）　（　）内は前月との比較

文化を基盤とした地域振興
町の総意を結集
昭和63年度施政方針（要旨）

三月定例町議会が、三月十一日から十七日までの七日間にわたって開かれました。本会議に提案された議案は、公有財産処分など十八件、いずれも原案どおり可決されました。

新年度の一般会計予算は、歳入・歳出それぞれ**十九億四千五百万円**としまして、昭和六十二年度の一般会計予算は、今回の補正で総額二十二億二千五十一万九千円となりました。

昭和六十二年度日本経済は、様々な国際関係の影響を受けました結果、貿易の不均衡是正問題と急激な円高に揺れ動き、経済成長の先行きが心配されていましたが、内需拡大等の財政政策が効を奏し、急激な景気回復を遂げることができました。

この様な状況で、国の予算でも四・八％、地方財政計画においても六・三％の伸びが計上されることになりましたが、本町の財政は一向に好転の兆しも見えず究めて厳しい財政運営を余儀なくされています。このことは、県下各市町村においても七十数パーセントの市町村が同じように財政窮乏をきたしているところです。

然し乍ら、乏しい財政の中、徹底した行政経費の節減、合理化を図り、基盤整備を主として積極的な予算編成を行っています。

日本一づくりの一環として取り組んでいます「**緑と彫刻のある町づくり**」は、あけぼの橋の裸婦像「爽風」につづき、津奈木大橋の男性像「薫風」につづき、本年完成します「**あかね橋**」に「**子供の像**」が設置される予定です。この彫刻設置により、津奈木川河口一帯を飾る岩野勇三先生作一連の彫刻設置が終わりますので、今後の美術品購入につきましては、本年実施しました「緑と彫刻のある町づくり」シンポジウムや、各界有志の方より町づくりに対して寄せられました御提言等を参考に計画し、今後とも息の長い計画をたて町づくりの基本としたいと考えています。

企業誘致については、昭和六十二年度三丸産業株式会社と南九州プロイラー株式会社の進出をみることができました。今年度は**江口建設工業株式会社及び新陽生コンクリート株式会社**から進出の申し出があっており、新年度早々にも進出協定の調印を行う予定です。

この他、観光産業等工場以外の部門からの申し出についても、広く町民の意向を聞いた上で、積極的に取り組む意算です。

交通網の整備については、JR博多、鹿児島間の**整備新幹線建設**が明るい見通しが得られる状況です。

西回り高速道については、間もなく日奈久バイパス着工の運びとなる予定で、水俣・芦北の路線等につきましても、あらましの場所を決定したいと考えています。

三号線の難所でした津奈木太郎一帯の**登坂車線工事**も間もなく完成し、続きまして千拓地入口付近など町内における危険箇所の改良についても工事を進めて頂くよう建設省に お願いしている所です。

又、県道岩城湯浦線の改修は、全線を通じ大型車輌の通行可能な路線とするため沿線地権者の御理解をえながら推進している現状です。この他、県営事業では、過疎代行法線改良工事、合串地区過疎基幹農道、広域農道があり、いずれも町の基幹的な路線として着々整備が進められているところです。

町単独の道路関係としては、**町道**で、赤崎線、津奈木村線、八迫引川内線、竹中線、新川中尾線、川内線、辻線の改良や舗装工事、**林道**では、石木田線新設の外、芋川線の舗装、作業林道の建設があり、津奈木太郎より水俣市の上木場に通じる広域林道計画につきましても本年度は是非認可を受けるよう努力しております。

農道関係では、浜崎線、川南線の集落道整備、下川内線、塩鶴線、三蜂線の改良舗装工事等、関係地域の要望に答え積極的に推進している所です。

又、高齢化が進むなか、町では、老人保健法による**成人病検診**を通じ、町民一人一人の健康保持にあたっていますが、この検診は水俣市芦北郡医師会の御理解と、熊本大学医学部、水俣病研究センターの先生方の御協力により実施して頂いているもので、検診内容は、人間ドッグ並の多種目に亘り高度なもので、受診率も年々増加の傾向にあります。又、昭和五十九年度からの検診データは、国立水俣病研究センターの**大型コンピューターに入力**してあり、この検診資料が各個人の健康管理のため必要な場合、直ちに引き出して利用できる様、県下ではじめて同研究センターコンピューターと役場の間を専用回線で結ぶ端末機の設置を進めている所で、長期間に亘った自分の検診結果がボタン一つで引き出せることになります。若し病気にかかった時、適切な診断、治療が受けられる等、健康管理の完璧が期せられることになります。

水俣病につきましては、昨年末現在で申請者数二五二名、認定者三二七名で、一日も早く解決しますよう引き続き国県に対し折衝を行う所存です。

公営住宅建設については、継続して竹中団地に五棟十戸を建設する計画です。

急傾斜地崩壊対策事業については引き続き福浦地区の危険箇所を実施する計画です。

農業問題については、基幹作目の「甘夏みかん」も必ずしも明るい見通しはありませんが、「**むき み甘夏**」等に加工することで販路を拡げたり、或いは流通面の改革を行う等生産から販売まで徹底した見直しが必要な時期だと思います。又、県が発表した温州の新品種「**金峰**」への更新につきましても、一年でも早く産地化する努力が必要ではないかと考えています。

水産業では、県営合串漁港修築工事を主に、海岸保全工事、環境整備工事、福浜漁港改修工事を続けて実施致しますと共に、県営の大型漁礁整備、町事業の並型魚礁や種苗放流事業、沿岸漁業構造改善事業で行う漁船保全修理施設等、漁業基盤の整備と沿岸漁業振興の諸事業を推進する所存です。

教育関係については、津奈木小校体育館改修を主にした、大規模改修工事については、国・県の補助を含め、財源の見通しがつき次第着工致します。

社会教育、社会体育の振興については、自主的活動を醸成し、「**文化の草の根運動**」として指導援助を行う所存です。

旧役場跡付近一帯の開発については、**民舞伝習施設**三〇〇平方メートルの建設を計画していますが、この他に高率の補助事業をさがし、町の財源をなるべく少なくして、効率の良い、立派な施設を建設したいと考えています。

本年度は、町振興計画の**基本計画策定の年**にあたりますこの一年は、町民の総意を結集した長期計画を樹立したいものと考えています。

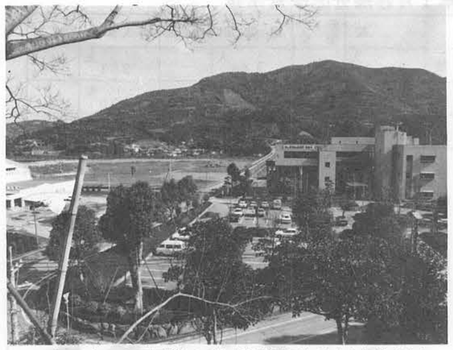
六十三年度予算の**総額を一、九四五、〇〇〇千円**としました。

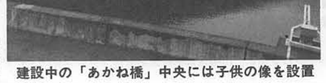
歳入面について、**町税**は、二一八四四五千円で構成比二一・三％、**地方交付税**は、八九五、〇〇〇千円で構成比四六・〇％、**国庫支出金**は、一六九、四〇五千円で構成比八・七％、**県支出金**は、一九一、八二四千円で構成比九・九％、**町債**は、二三〇、〇〇〇千円で構成比二・八％。

この他、**地方譲与税**二五〇〇〇千円、**自動車取得税交付金**は二四〇〇〇千円等それぞれ計上しました。

歳出について項目別にみますと、**議会費**は、五二一、六五八千円で、構成比二・七％、**総務費**は、二八一、三六八千円で、構成比一四・五％。**民生費**は、一五九、五五一千円で、構成比八・二％。**衛生費**は、八二、六〇六千円で、構成比四・二％。**農林水産業費**は、四七七、〇三九千円で構成比二四・五％。

（裏面へつづく）


町の中心となった干拓地も手が加えられ利用しやすくなりました


建設中の「あかね橋」中央には子供の像を設置

公営住宅の建設には意欲的に取り組む

昭和63年度の主な事業計画

事業名	事業量
赤崎線改良工事	L＝100m　W＝7.5m
津奈木村線改良工事	L＝100m　W＝4.0m
八迫・引川内線新設工事	L＝160m　W＝5.0m
新川・中尾線舗装工事	L＝529m　W＝6.5m
竹中線改良工事	L＝620m　W＝4.0m
川内線舗装工事	L＝368m　W＝4.0m
緑と彫刻のある町づくり	ブロンズ像一体
農村基盤総合整備事業	農道新設・改良工事
定住促進対策事業	民舞伝習施設
石木田林道開設事業	L＝400m　W＝4.0m
芋川林道舗装事業	L＝430m　W＝3.6m
森林総合整備事業	作業路。下刈。枝打
新沿岸漁業構造改善事業	漁船保全修理施設
福浜漁港改修事業	護岸55m
合串漁港修築事業	県営工事
合串漁港海岸保全事業	県営工事
公営住宅建設	10戸
津奈木小大規模改修	校舎
広域農道整備事業	県営工事
広域林道整備事業	県営工事

四月の行事

四　日○津奈木保育園入園式
　　○津南保育園入園式
六　日　春の全国交通安全運動（一五日まで）
八　日　各小学校入学式
九　日　津奈木中学校入学式
一一日　津奈木幼稚園入園式
一七日　親子ビーチバレー大会
　　場所・海洋センター
二四日　消防点検
　　場所・総合グラウンド

商工費は、四、一二六千円で構成比〇・二％。
土木費は、二七七、四六六千円で、構成比一四・三％。
消防費は、六五、一六四千円で構成比三・四％。
教育費は、一九〇、五八三千円で、構成比九・八％。
災害復旧費は、二八、七三三千円で、構成比一・五％。
公債費は、三一七、二八八千円で、構成比一六・三％。
特別会計では、**国民健康保険事業特別会計**五五五、〇〇〇千円、**老人保健事業特別会計**三九六、四〇〇千円、**簡易水道事業特別会計**四九、七〇〇千円を計上しました。

以上、予算内容について説明しましたが、運用にあたっては、職員一体となり有効適正に行う所存です。

（予算関係については、広報五月号に詳しく掲載する予定です。）

青春101 24

佐々木　純子さん
S43・12.21日生まれ　19才
血液型O型

仕事の話しを
社会福祉協議会に入って約一年。仕事が忙しくてアッという間に過ぎてしまいました。

休日は何を
まとまった休みを利用して旅行に行きたいですネ。日本では北海道。外国ではスイス。人が多い所は手です！。五月の連休は長崎に行こうと思っています。

二〇歳までしたい事
化粧のしかたを上手になりたい。薄く自然な感じがいいですネ。

結婚について
前まで二七の予定だったけど、占い師さんに聞いたら「二二で結婚しなさい。」とのことですので、そうしたい。

理想のタイプは
冷たそうに人に見えるけど言葉の片隅に時々やさしさの見える人。

昭和63年1月診療分医療費速報

	一般	県下の順位	退職者	県下の順位	老人保健	県下の順位
受診者数	907人		146人		354人	
受診率	136％	3	149％	12	150％	4
一人当り医療費	31,464円	12	28,159円	65	70,641円	29

津奈木町国民健康保険

お知らせ

衛生係より

狂犬病予防注射犬の登録

実施場所及日時
昭和六十三年四月二十六日（火）
大泊漁協前　午前九時～十時
新川　西川谷氏宅横　午前十時三十分～十一時三十分
小津奈木　寺床商店横　午後一時～二時
昭和六十三年四月二十七日（水）
肥薩陶器瓦入口　午前九時～十時
中尾　諏訪神社前　午前十時三十分～十一時三十分
旧役場　午後一時～二時
昭和六十三年四月二十八日（木）
福浦公民館　午前九時三十分～十時
合串　村上源作氏宅前　午前十時三十分～十時四十分
平国会館　午前十一時～十一時三十分
赤崎漁村センター　午後一時～二時
料金
登録料　二千円
注射料　二千円
注射済票　四百円
合計　四千五百円

ツベルクリンBCG接種

期日
ツ反　四月六日（水）
BCG　四月八日（金）
場所　改善センター
時間　十三時三十分～十四時三十分
対象児
昭和六十一年四月一日から六十二年三月三十一日までの出生児
未接種者は三才まで受られます。母子健康手帳と印鑑を持参下さい。

麻しんの予防接種

接種方法
個人的に医療機関で実施
対象者
生後十二ケ月～七十二ケ月まで。
町民課衛生係へ印鑑持参の上予防接種の申出をしてください。無料の受診券を発行しております。但し七月、八月は接種できません。

教育委員会より

奨学生募集

津奈木町奨学金貸付条例により昭和六十三年度の奨学生を募集します。

高校又は大学等に入学又は在学している人で、向学心に富み、有能な素質を有し、かつ経済的理由により修学困難な者に貸付けられます。ただし、本町の奨学金以外の資金（育英資金など）の貸付けを受けている人は借りられません。

奨学金額
高校　月額　一万円
大学　月額　二万円

御希望の方は、四月中に、教育委員会事務局へ、お申込み下さい。

国民年金係より

●国民年金の保険料が4月から変わります。
定額保険料　――　七、七〇〇円
附加保険料　――　八、一〇〇円
財政のバランスを維持するために保険料の段階的な引き上げが必要となります。加入者の皆さんが豊かな老後を送るために保険料の引き上げについて十分なご理解とご協力をお願いします。

●保険料を前納すると割引されます。
月々納める手数を省くため、六三年度分の保険料を一括して前納する制度があります。前納は、毎月納める額よりもお安くなります。

※前納を希望される方は、役場町民課福祉係に申し出て下さい。

☆月々納付する2年に定額保険料九二、四〇〇円ですが、前納なら、九〇、一七〇円で二、二三〇円割引かれます。附加保険料の前納は九四、八五〇円になります。

●あなたの年金は、いくらになりますか？
一、老齢基礎年金の額は、二〇歳から六〇歳に達するまでの四〇年間に国民年金の保険料をすべて、納めた場合に満額の年金が支給になります。
二、納めた期間が四〇年に不足する場合は、期間に応じて減額されます。
三、国民年金が発足したのは、昭和三十六年四月一日のために、このとき、二〇歳以上の人は、六〇歳に達するまでの間に、四〇年の加入期間を満たすことができません。そこで、表1のとおり、生年月日に応じて、加入可能年数が定められています。すべて納めていれば、満額の老齢基礎年金が支給されます。計算式で示すと表2のようになります。

（表1）

生年月日	加入可能年数	生年月日	加入可能年数
昭和2年4月1日以前	25年	昭和10年4月1日以前	33年
〃 3〃4〃1〃	26年	〃 11〃4〃1〃	34年
〃 4〃4〃1〃	27年	〃 12〃4〃1〃	35年
〃 5〃4〃1〃	28年	〃 13〃4〃1〃	36年
〃 6〃4〃1〃	29年	〃 14〃4〃1〃	37年
〃 7〃4〃1〃	30年	〃 15〃4〃1〃	38年
〃 8〃4〃1〃	31年	〃 16〃4〃1〃	39年
〃 9〃4〃1〃	32年	〃 16〃4〃2以後	40年

（表2）

$$626{,}500 \times \frac{\text{保険料を納めた月数＋保険料を免除された月数} \times \frac{1}{3}}{\text{加入可能年数} \times 12}$$

（昭和62年度）

消防点検
4月24日(日)

平国少年消防隊・幼稚園・保育園
幼年消防隊による通常点検の演技があります。

海技免状引き換えのご案内

1.船舶職員法が改正され、昭和62年4月30日から、5年ごとの海技免状の更新事務が開始されました。

2.昭和58年4月29日以前に海技免状の交付を受けた方は、この更新をする前に、海技免状の様式が変更されたため、まず、海技免状の引き換えを行うこととなっています。

※昭和58年4月30日以降に免状の交付・引き換え・再交付・訂正を受けた方は5年ごとの更新を行って下さい。

3.もし、期間を過ぎますと海技免状は失効し、失効再交付講習を受け再交付を受けなければ免状は使用できませんので、十分注意して下さい。

4.また、四級小型船舶操縦士の免状については、昭和63年4月から5年の間、免状取得年月ごとに期間を定めて引き換えを行っています。　（下記のとおり）

5.この引き換えを行ってから5年ごとに海技免状の更新を行うこととなっています。

記

四級小型船舶操縦士の引き換え期間

旧免状の交付を受けた日	引き換え期間
昭和49年　5月26日から昭和50年12月31日まで	昭和63年　4月　1日から昭和64年　3月31日まで
昭和51年　1月　1日から昭和51年　9月30日まで	昭和64年　4月　1日から昭和65年　3月31日まで
昭和51年10月　1日から昭和52年　9月30日まで	昭和65年　4月　1日から昭和66年　3月31日まで
昭和52年10月　1日から昭和55年　3月31日まで	昭和66年　4月　1日から昭和67年　3月31日まで
昭和55年　4月　1日から昭和58年　4月29日まで	昭和67年　4月　1日から昭和6.8年　3月31日まで

※　引き換えについての詳細は、九州運輸局又は海運支局へお尋ね下さい。

九州運輸局船舶員部船舶職員課
（TEL）093－332－8094

ご芳志お礼

地区　世帯主　故人
竹中　山崎　秀雄
染竹　鶴山　廣　ヨシ
大泊　真野　数馬　ツルジュ　ムメヲ

右のかたがたから町社会福祉協議会へ香典返しとして金一封をご寄附くださいました。この寄附金はご意志に添い有効に利用させいただきますとともに、故人のご冥福を心からお祈り申し上げます。
（敬称略）

ご寄附お礼

緑化
○浜松市　村木敏幸様（旧姓・山崎）より還暦祝として、しだれ桜二〇本　男島公園／鎧ケ崎公園に植栽。
○浜崎地区　川崎ミチヨ様　モチの木　七本
児童公園に植栽。
美術品取得基金
○水俣市月の浦　碌吉永商会　代表取締役　吉永勝秀様
○福岡市博多区博多駅東二丁目一番三十三号はかた近代ビル　梯近代電子　代表取締役　財部憲次様
より町美術品取得基金として、金一封をご寄附頂きました。
財部憲次様からは、多年にわたり御寄附頂いております。
重盤岩の日の丸
○中尾地区　山口チフ様
○中尾地区　浦田国光様
より日の丸購入費として、金一封を寄附頂きました。記名の上掲揚させて頂きます。

それぞれのご寄附誠にありがとうございました。心よりお礼申し上げます。